三共貨物自動車株式会社へのvoice導入事例を掲載
事例集「第17弾」配信開始

株式会社シーネット（本社：千葉県船橋市、代表取締役CEO：小野崎伸彦、以下「シーネット」）は、すべての従業員とその家族が誇りを持てる企業作りを実践し、物流業という企業活動を通じて地域社会に貢献する、三共貨物自動車株式会社（本社：茨城県筑西市、代表取締役社長 小倉重則、以下「三共貨物自動車」）への音声認識システム導入事例を載せた『ci.Himalayasシリーズ導入事例集』第17弾をWEBにて配信を開始しました。

『ci.Himalayasシリーズ導入事例集』は、物流システムの導入を検討されている企業様や、情報収集を行っている方に向けて、倉庫内業務の課題点をシーネットのシステムでどう解決できたか、また、システム選定のポイントなど、有益な情報をご提供しています。

最新導入事例として、三共貨物自動車への音声認識システムの導入事例を掲載しています。
三共貨物自動車は1944年の創業以来、お客様の物流価値をシフトする最適なロジスティクスプランを提供し続けています。
主に茨城県を中心に首都圏に多数の店舗を展開するスーパーカスミ全店の倉庫業務を担い、現在茨城県内に9拠点のセンターと営業所を構えています。

2015年、荷主様の店舗数が58店舗の時点から本格的に音声認識システムの導入を始めました。従来では1店舗増設ごとに5名の人員確保が必要だったところを増員なしで運用が可能となりました。システム導入以来、5店舗の拡張となっていますが、25名分の人員削減を実現しました。倉庫業務の主な担い手は、女性、中高年、高校生、障がい者の方と様々な中、現在音声システムでの作業実績ナンバーワンであるのは障がい者の方ということです。

また、業務のスタイルにもいくつかの変化がありました。仕分けスペースを必要に応じて柔軟に組み替える体制が整ったことにより、より精度の高い運用ができるようになりました。
さらに、倉庫内作業者が40代後半～60代と高齢化し危機感を持っていましたが、音声システムによる効率的な作業が有効な対策となった上に、物流増をカバーするための社員の残業もなくす事ができました。これにより、多くの作業者が余裕を持って仕事をすることが可能になりました。

＜詳しい導入経緯作業フロー、効果は事例集にて＞

◇下記URLより事例集をダウンロード頂けます。 https://www.cross-docking.com/inquiry/download/

【ci.Himalayasシリーズ導入事例集17第弾】
『音声認識による柔軟な作業体制構築でCSR効果も実現』三共貨物自動車（物流業）
『ビジネスの拡大・変化にもフレキシブルに対応する戦略的物流IT基盤を構築』スターバックス

コーヒー ジャパン（外食業）
『音声認識システム導入と現場改善で30%効率UP』ソフトバンク（通信業）
『汎用性の高いWMSで多種多様なアイテムを効率的に管理』アイティエス（物流業）
『HTから音声システムに切替えで生産性30%UP・ミス大幅削減』大京食品（卸売業）

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com